厚生労働省福島労働局発表



平成 25 年 4月 24日

福島労働局総務部企画室

担室長新国誠

室長補佐 針 生 達 矢

| 当 |電 話 024-536-4600(代表)

福島大学生が福島労働局に研究成果を報告 ~学生の視点から福島の雇用問題などをレポート~

平成25年4月26日に、福島労働局(河合智則局長)において、福島大学行政政策 学類・長谷川ゼミ(長谷川珠子准教授 労働法・社会保障法)の学生が、福島の雇用 などの諸問題に関する研究成果のブックレット出版報告を行う。

福島労働局からは河合局長をはじめ同局幹部・職員が出席し、執筆者の学生と懇談する予定である。

福島大学で労働法、社会保障法を学ぶ福島大学行政政策学類・長谷川ゼミ(長谷川珠子准教授)の学生が、福島県をめぐる雇用などの諸問題について早稲田大学と共同で研究活動を行い、その研究成果(レポート)をブックレット「ふくしま・震災後の生活保障 大学生たちの目でみた現状」(早稲田大学出版部刊・別添チラシ参照)として出版した。

福島労働局は、上記の研究活動に対し、福島の雇用に関する資料の提供や、雇用情勢の説明などについて協力した。

レポートの出版にあたり、長谷川准教授及び福島大学生が福島労働局を訪れ、下記のとおり、レポートの内容や研究にあたっての感想等を報告することとなった。

福島労働局からは、河合労働局長をはじめ同局幹部・職員が出席し、学生の報告を聴くとともに質疑応答や懇談を行う。

記

- 1. 日 時 平成 25 年 4 月 26 日 (金) 15 時~
- 2. 場 所 福島労働局 4 階会議室
- 3. 次 第
- (1) ブックレット贈呈(学生代表→河合局長)
- (2) ブックレット紹介
- (3) 質疑応答

早稲田大学出版部 新刊案内 (2013年4月10日発売予定)

ふくしま・震災後の生活保障

大学生たちの目で見た現状

早稲田大学法学学術院教授菊池馨実[編] 早稲田大学菊池ゼミ+福島大学長谷川ゼミ[著] 定価 987円(税込) A5判・並製 135頁



社会保障法、労働法を学ぶ早稲田大学、福島大学の学生たちが、福島をめぐる教育、コミュニティ、雇用、介護など人々の生活実態を詳細にレポート。そのほか、交流会を通じての両大学学生の意識の変化も描かれる。 未だ混乱が続く福島。福島再生のために必要な行動は何か。大学生ならではの瑞々しい感性で問題の本質に迫る。

【目次より】

第1章 福島の将来、子どもの未来

——福島からみる中高生の教育問題 (柴崎早希子・大友恵美・角 詠之・櫻井 茜)

◆コラム「被災者」と「被害者」と私(塩沢真由)

第2章 福島の大学生と3・11

――福島で生活し、学ぶ意味とは

(高橋亜裕・高山瑞穂)

◆コラム 震災復興ボランティアの今とこれから(土谷一貴)

第3章 震災と障害者——コミュニティのあり方を再考する (浅見好香・金子果穂)

第4章 県外避難者のコミュニティ支援

――みんなで支える, 生きるためのつながり (吉村奈保)

◆コラム 仮設だからできること(野口雄基)

第5章 避難について、それぞれの家族の選択 (門倉春香・岸本清花)

第6章 福島の復興のために

――震災後の福島県の雇用問題から見えてきたこと

(荒木季・佐藤正徳・林未来・山田眞緒)

第7章 原発事故による介護人材不足

――原発事故後の介護現場の現状を知る

(鈴木彩乃・熱田健一・佐藤真紀・塩田奈央)

第8章 早大・福島大交流会を通じて

(大西志帆・佐藤渚)

福島で暮らす意味――学生と向き合うなかで見えてきたこと(長谷川珠子)

あとがき――ふくしま・大学生の目で見た現状とこれから (菊池馨実)

株式会社早稲田大学出版部

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-1-7 TEL: 03-3203-1551